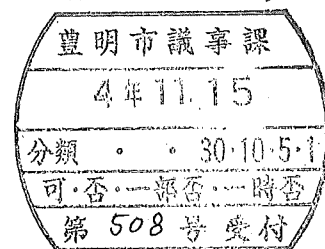


<参考>様式第4号

令和 4 年 11 月 15 日

豊明市議会議長 殿



研修会・講演会等参加報告書

議員名 林 ゆきひろ

令和4年度 豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日 付	研修先	研修項目及び成果等
令和4年10月19日	ホクト文化ホール (長野県)	・コロナ後の地域経済について ・地方議会のデジタル化の現状、課題と 将来の可能性について
令和4年10月20日	ホクト文化ホール (長野県)	・地方議会のデジタル化の取組報告につ いて ※詳細は別紙報告書のとおり

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

令和4年度 全国市議会議長会研究フォーラム 報告書

林 ゆきひろ

研修テーマ： デジタルが開く地方議会の未来
研修日時： 令和4年10月19日・20日
研修場所： ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）

①基調講演

講演題目： コロナ後の地域経済
講師： 株式会社 経営共創基盤（IGPI）グループ会長
株式会社 日本共創プラットフォーム（JPiX）代表取締役
富山 和彦 氏
研修日時： 令和4年10月19日13時20分～14時20分
主な内容： 民間企業によるDXの推進
DX 拡張加速により、ローカル企業の生産性向上の機会
ローカル経済圏における人材の課題

②パネルディスカッション

題目： 地方議会のデジタル化の現状・課題と将来可能性
コーディネーター： 毎日新聞社論説委員 人羅 格 氏
パネリスト： 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授 岩崎 尚子 氏
東京大学先端科学技術研究センター教授 牧原 出 氏
明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授 湯浅 壘道 氏
長野市議会議長 寺沢 さゆり 氏
研修日時： 令和4年10月19日14時40分～16時40分
主な内容： 地方議会におけるデジタル化推進の必要性
⇒ コロナ禍等災害時の議会の機能拡充、住民との意見交換の手段として
全国の地方議会のデジタル化の推進状況
⇒ タブレットの導入51.9%、委員会等のオンライン開催状況17.4%
地方議会でデジタル化を推進していく上での注意点
⇒ 各議員の理解、法令整備、文書のデータ化作業
セキュリティ対策
⇒ 情報漏洩の対策、個人情報の取り扱い

③事例報告

題目： 地方議会のデジタル化の取組報告

コーディネーター： 慶応義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科教授
谷口 尚子 氏

事例報告者： 取手市議会議長 金澤 克仁 氏
可児市議会議長 板津 博之 氏
西脇市議会議長 林 晴信 氏

研修日時： 令和4年10月20日9時～11時

主な内容： 3市の議会におけるデジタル化の取り組み状況
デジタル化を進ませていく上での問題点をどのように解決してきたか
⇒ 例えば、議員間での理解をどう促進させたか等
議会のデジタル化は、議会改革と一体的に取り組んでいく
⇒ 議会改革を進ませていく上で、デジタル化の活用を検討する
コロナ禍での議会開催をどのように実施してきたか
⇒ 議会としての機能拡充の手段としてのデジタル化

◆所感

今回の研究フォーラムで、デジタル化が進んでいる議会の取り組み事例や、議会でのデジタル化を進ませていく上での問題点、課題などを学びました。新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、全国の地方議会では、オンライン化やデジタル化がかなり進んできています。

議会のデジタル化が進むことで、場所が遠い自治体に行かなくてもオンラインで視察が可能になったり、オンラインによって距離が遠い自治体の議会とも意見交換ができたりします。また、市民の方との意見交換会や、子ども議会もオンラインで開催することもできます。こうしたことを積極的に行うことによって、市民の方との意見交換が活発になり、これまでなかなか政治に関われなかった子育て世帯や若者も参加しやすくなり、市民の方にとって議会への満足度は向上しているとのことでした。

一方で、議員間でなかなかデジタル化への理解が進まないことや、セキュリティ対策、市の予算との兼ね合いなど、課題は多数あげられます。一度に全てを解決することは難しいため、まずはできるところから取り組み、当局と連携しながら進める必要があると思います。豊明市議会では、昨年度から「議会IT化推進専門部会」が立ち上がり、議論が進んでいます。1つ1つ課題を解決しながら、できることからデジタル化を進めていく必要があると考えます。



全国市議会議長会研究フォーラムの様子